

内装用羽目板 施工上の注意 (杉、桧、萌パイン)

必ず施工前にお読みください。

施工前に以下の点をご確認ください。

- ・この商品は屋内専用商品です。屋外へのご使用は絶対に避けてください。
- ・浴室など水気や湿気の多い場所へ使用されると、カビの発生や腐れ、シミ、変色、割れ、反り、突き上げなどが起こる場合があります。絶対に使用しないでください。
- ・無塗装でご使用になる場合は材が湿気と乾燥の影響を受けやすくなり、伸縮、反り、ひび割れなどが発生する可能性が高くなることを事前にお施主様へご説明ください。
- ・下地材が濡れた状態での施工はやめてください。目隙、変形、割れ、反りなどの原因になります。
- ・雨風が吹き込むことの無いよう、開口部にサッシなどを取り付けた後に施工してください。
- ・ご使用前の保管につきましては、直射日光や雨水のかかる場所、および湿気の多い場所を避けて保管してください。

安全にご使用いただくために

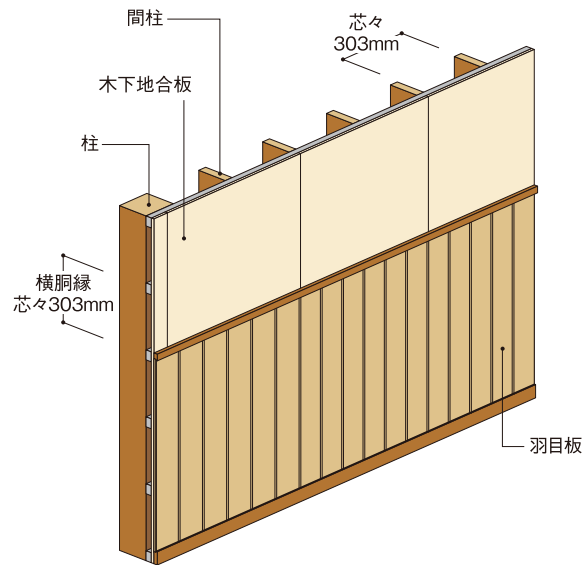
- ・商品を取り扱う際は、トゲなどによるけがの防止、商品の汚れ防止のため、必ず手袋を装着してください。
- ・商品を切断、切削する際は、必ず防塵マスクを装着して作業してください。
- ・木製品は柔らかく破損しやすいので、保管、移動、再梱包の際は慎重な取り扱いをお願いします。

施工上のお願い

- ①自然木製品のため、一枚一枚色調、木目が異なるので、施工前には必ず仮並べをし、色調をご確認のうえ施工してください。
- ②多湿による羽目板の伸びを考慮し、クリアランス(隙間)を確保しながら施工してください。
- ③下地施工
 - 木下地材は人工乾燥材を使用してください。
 - 下地組みは、胴縁に12mmあるいは9mmの木質合板を捨て張りしてください。
 - ・羽目板を横張りする場合は、303mmの間隔で縦胴縁を取り付けてください。
 - ・羽目板を縦張りする場合は、303mmの間隔で横胴縁を取り付けてください。
 - ・プラスターボードを捨て張りに使用するのは絶対に避けてください。
- ④下地への固定
 - フィニッシュネイル(針釘)は絶対に使用しないでください。
 - ステンレス製の釘で施工してください。使用する釘の長さは、板厚の3倍程度を目安としてください。
 - 釘を打つ位置は、各商品ページの断面図に記載しておりますので参考にしてください。
- ⑤無垢商品の場合、現場の湿度の影響を受け伸縮します。伸縮率は材質や木の元口、末口によっても一定ではありません。そのため、施工時には必ず墨出しを行い、上下左右のバランスを確認しながら施工してください。
- ⑥施工後の養生は、隙間無く養生をしてください。隙間があるとその部分のみ色が変わってしまい、色の違いが目立つようになることがあります。
- ⑦エアコンなどを後から取り付ける場合は、羽目板に直接固定することは避けて、必ず下地に(必要なら補強して)取り付けてください。
- ⑧現場塗装を行う場合は必ず裏面も塗装をしてください。表面(片方)のみの塗装の場合、湿気の吸放出に偏りが生じ、反りや狂いなどの原因になります。(木口や切断面も塗装の処理をお願いします。)また、羽目板が乾燥、収縮した時に塗装をしていない実部分が露出して目立つのを防ぐために、あらかじめ実部分まで塗装をしておいてください。自然塗装(柿渋)等をご使用の場合、木材成分と化学反応するおそれがあります。必ず試し塗りの上、ご利用下さい。
- ⑨切断時のササクレや塗膜のハガレを防止するため、鉛筆などによる墨付けの後、カッターナイフなどで必ずケビキ処理を行い、ノコ、ノミ入れを行ってください。

内装用羽目板(縦張り)施工図

●木下地合板の継ぎ目と商品の継ぎ目が一致しないようにしてください。



内装用羽目板(横張り)施工図

●木下地合板の継ぎ目と商品の継ぎ目が一致しないようにしてください。

